

地域が主役のまちづくり

# 地域サポーターの紹介

鶴瀬西  
交流センター

049-251-2791



ほりくち まさひと  
堀口 正仁さん  
(鶴馬在住)

つるせ西だより編集委員長

私のサラリーマン人生は、ホテルマンや、営業で人と接する仕事に従事してきました。

10年ほど前に定年を迎え、自由な時間が持てるようになりました。これまでの人生経験を活かし、地域に貢献したいと考えていた2年ほど前に、「つるせ西だより」の編集長から編集委員のお誘いがあり、参加することになりました。

「つるせ西だより」の取材でインタビューをすると、地域を支えている多くの方と出会うことができ、さまざまな地域貢献の仕方があることを目の当たりにすることができました。

編集委員として参加させていただくことで、地域に貢献するだけでなく、編集委員の先輩方がすでに地域に多大

な貢献をされている方々ばかりなので、地域の歴史、人としてのあり方など自分自身がさらなる人間性の向上を図る場を与えていただいています。

毎月編集会議に参加するたびに、新たな知識や地域情報などを知る機会になり、参加する楽しさを感じています。

今後は、「つるせ西だより」の読者である鶴瀬西地域の皆さんが発行を楽しみに待っていただけるような「知ってよかった」、「知りたかった」と思われる情報を掲載するために、読む側の視点で紙面の作成を心掛けたいと考えています。



編集会議のようす

## 手話で楽しもう

問合せ/障がい福祉課 ☎327

身近な手話について紹介するコーナーです。

### 伝えようとする気持ち

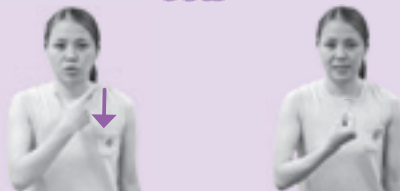
聴覚障がいは外見上わかりにくい障がいであり、それが特徴と言えます。そのため、後ろから来る車の音に気付かず、怖い思いをしたり、電車の中のアナウンスが聞こえず、困ったりしていても、周りの人にはなかなか気付いてもらえません。

聴覚に障がいがあるといっても、聞こえ方は個人個人により違います。全く聞こえない方や補聴器をつければ聞こえる方などさまざまです。またコミュニケーション方法には、手話や口話、筆談などがあり、どれか一つの方法だけを使うのではなく、相手や場面に応じて、複数の手段を組み合わせたり、使い分けたりしています。聴覚に障がいがある方と出会ったら、まず、どのような方法でコミュニケーションをとれば良いか、ご本人に尋ねていただくといいでしょう。言葉がわからなくても、相手の表情や口の動き、身振りで示すことで、わかることもあります。「伝えようとする気持ち」が一番大切なことです。

※下記に掲載の写真から、AR動画が見られます。AR動画の利用方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



サッカー



好き



### 全国手話言語市区長会 設立総会のようす

国の手話言語法制定を求めて、富士見市長が発起人の一人となり、「全国手話言語市区長会」が設立されました。会には全国254の首長が参加し、6月8日に東京都内で設立総会が開催され、富士見市長が副会長（関東ブロック代表）に選任されました。